

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけつと中野島教室
公表日	2026年 2月 20日
利用児童数	3
	令和 7 年 1 0 月 末
回収数	3

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					・活動の内容に応じて遊具を移動させ、スペースを確保するようにしています。また怪我につながりやすい箇所はカバーをつけ、安全面にも配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					・規程されている人数以上の職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					・おもちゃは写真とひらがなで何のおもちゃが入っているか明記しています。 ・靴や荷物を入れる棚、各個室のドアなどに動物のイラストを貼り、分かりやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				・教室でたくさん寝てくださるので、息子自身の自己肯定感が上がってきた気がします。	・床の掃除、おもちゃ・教材、ドアノブの消毒は毎日行っています。 ・冬期は加湿器を設置し、乾燥対策にも努めています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				・基本的に安心してお任せしています。 ・子どもの今の段階にあったちょうどよい課題設定が行われているので、できるようになってきているのだと思います。	・今後も個別支援計画に基づき、丁寧な療育を行ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				・ここ最近で言葉の伸びを実感している。	・てらびあぼけつとの825項目のプログラムと連動させて、お子さんに合わせた支援計画を立てています。モニタリング時には保護者様と一緒にできた項目を確認しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				・今まで自分の思いを伝える方法が、うまく伝わらない時は泣く、わめくだったのが、それが言葉に置き換わってきていて、癇癪も少しずつ減ってきている。	・保護者様からの聞き取り、お子様の行動観察、可能な場合はフォーマルなアセスメントをもとに、包括的にバランスよく支援を組み立てることを心掛けています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					・保護者様からの聞き取り、お子様の行動観察、可能な場合はフォーマルなアセスメントをもとに、包括的にバランスよく支援を組み立てることを心掛けています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					・お子様のセラピーのデータを蓄積したファイルや、職員同士の話し合いを基に、共通認識をもって支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				・毎回違う先生が担当になってくださっています。	・どの先生でも課題を達成できるよう、般化を意識し、毎回異なるセラピストが担当するようにしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			2	1		・事業所としての交流活動は行っていませんが、今後地域の交流イベントの案内などを発信していきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					・契約の際にご説明するようにしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					・半年に一度個別支援計画をお見せしながら丁寧に目標と支援の手立てをご説明するようにしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2		1		・個々にはセラピーノートや相談の時間を設け、支援のアイデアを提案しています。 ・家族支援プログラムについては、ミニ講座や保護者懇談会などを企画し、発信中です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3				・子どもが先生のお手本に注目して手遊びを真似している動画を見せていただき、感動しました。	・毎回の来所時とお迎え時に、保護者様からお子さんの体調やご家庭、保育園／幼稚園での様子、お困り事などをお聞きしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					・セラピーノートで日々のお子様の様子やお困り事などを聞かせていただいています。 ・場合によっては相談の時間を設け、お話を聞かせていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					お子様をよく観察し「何をしようと思っているか」「何がしたいか」などをくみ取り、取り組もうとしている過程やできたことを評価するようにしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2		1	・子どもが自分から妹と手をつなぎ、つないだまま歩くことができた。	・保護者同士の交流の機会を設ける予定。 ・イベントの形では行っていないが、ご兄弟がいらっしゃった時には安心して過ごせるよう工夫をしている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					・いつでも相談を受け付けていること、園訪問についてなど、面談時にお話しさせていただいたり、入口にお知らせを掲示しています。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					・セラピーノート、またはLINE、お電話でも連絡を取ることができます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					・ブログやInstagramで、教室での支援の様子やイベントの案内を随時発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					・個人情報を含む書類は鍵付きの書庫に保管しています。 ・HPやInstagramには、お子さんのお顔を隠して掲載させていただいています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					・各マニュアルを作成し、保護者さまが見やすい位置(相談室)に設置するようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					今年3回避難訓練を行いました(地震、火災、浸水)。利用者全員が参加するようにしています。職員向けに消防訓練も行いました(消火器の使い方、通報訓練)。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					・毎月教室内外の安全点検を担当職員が行い、その結果をお手紙や掲示で保護者様にお知らせするようにしています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					・これまで大きなけがなどにつながった事例はありませんが、怪我がある場合は速やかに保護者様に連絡をするよう職員間で周知しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				・基本的に安心してお任せしています。	・はじめは緊張気味だったお子様もセラピーを重ねるにつれ、楽しみにしてくださっているお話を保護者様からお聞きました。今後も楽しい場所とっていただけるよう努力して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3				・毎回楽しんで通っています。 ・教室が見えると喜んで通っています。 ・楽しいところだと認識しているようです。	・「楽しく学ぶ」ことが一番だと思いますので、今後もお子様に楽しいと感じていただけるよう努めていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				・とても満足して通っています。	ありがとうございます。今後も職員一同力を合わせてより良い療育を提供できるよう心掛けていきます。今後ともよろしくお願いいたします。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと中野島教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・個室4、発達支援室1、定員に対して適切である。	・冬期は床が冷たくお子さんの脚も冷たいままのことが多いので、12～3月限定で足裏に滑り止め付きの靴下であれば履いたまま活動しても良いこととした。引き続き安全面には気を付けていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・支援に入る職員の他に、+1の職員が配置されるように配慮されている。	・交代で公休を取るようにはしていますが、臨機応変に対応できるよう可能な限り職員数に余裕をもった配置を心掛けて行きます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・お子様の靴、荷物の置き場所、おもちゃの収納など視覚的補助も使い、整理整頓されている。	・教材やおもちゃは写真とラベリングで所在が一目でわかるよう工夫しています。 ・トイレ内にイラストを貼り、楽しんでトイレトレーニングができるようにはしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・机のコーナーガード等お子様の安全に配慮している。 ・毎日各部屋、トイレ、流し等の清掃を行っている。	・毎日雑巾や布巾の除菌をしています。 ・毎日ドアノブや部屋の鍵部分を除菌しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・体調が悪い時や気分が高揚しすぎた時は、個室で気持ちを落ち着けるようにしている。	・個室に余裕がある時は空き個室で、空いていない時は相談室をクールダウンの部屋として使えるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・相談しやすい環境であり、目標設定や振り返りがスムーズにできている。 ・支援の改善点、ヒヤリハットなど常に全職員で話し合い、より良い方法を考え、実践している。	・セラピーの進め方や、お子様の行動で対応に困った時は、その都度職員間で共有し改善策を考えます。改善策を行った結果も共有するように心掛けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		保護者向けガイドラインアンケートを12月に行いました。教室独自のアンケートも今後行う予定です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・会議がまめに開かれ、意見を出しやすい雰囲気である。	どんな小さなことでも職員間で話し合える雰囲気できています。今年は職員からの提案で、備品購入の仕方やはじめの会の内容について改善を行いました。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・第3者評価は行っておりませんが、引き続き本部のSVから運営状況や支援内容を確認してもらい、業務改善に繋げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・社内(てらびあぼけっと)の研修だけでなく、川崎市の研修にも参加している。 ・外部の研修も受けることができる。 ・療育センターの研修にも参加。	・社内・外部研修を受講した時は、研修内容を職員間で共有するようにしています。 ・月1回法人内各教室の管理者報告会を開催し、情報共有を行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・インテーク、お子様の行動観察、可能な場合はフォーマルな検査の結果などを基に支援計画を作成。さらに支援の詳細を記した指南書、アセスメント825と連動。	・初回利用時に個別支援計画の内容について保護者様にご説明させていただいています。また毎回のセラピーのフィードバック時にもプログラムを行う目的を折を見てご説明させていただいています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・支援計画を立てる時に、職員1人1人に意見を聞いてくれている。 ・ターゲットに進む前には必ずアセスメントを取っている。	・インテーク時の保護者様からの情報、お子様の行動観察、可能な場合はフォーマルな検査の結果などを基に支援計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・セラピスト達の見立でも反映してもらえている。 ・必ず原案カンファレンスを行い、より良い支援方法を職員全員で検討している。	・支援計画作成の際には、必ずカンファレンスを行いお子様の支援方法について話し合っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・新しく導入するプログラムがある時は、必ず児発管に確認を取り、支援計画にそれないようにしている。 ・支援の進捗状況、新しいことを始める時は児発管が確認をしている。	・支援の進捗状況や、新たな方法での支援を導入する時は職員間での話し合いや児発管が確認をして行うようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・お子様の様子について、事あるごとに話しやすい雰囲気。 ・保護者様の許可を得て発達検査等の結果を教室内で共有。	・保護者様の許可が得られた場合は発達検査等の結果を職員間で共有させていただき、支援に活かしています。 ・新しいプログラムを始める際にはまずアセスメントをとるようにはしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・支援計画に明記。	・今後もガイドラインを厳守し、お一人お一人のニーズや課題に沿った支援ができるよう尽力していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・児発管だけでなく、セラピストにも意見を聞くようにしている。 ・職員間での情報共有と相談が活発に行われている。	・職員間で活動プログラムについて頻繁に話し合っています。お子様の状態を見ながら支援内容・方法を改善し、臨機応変に対応することを心掛けています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・できるだけ楽しく般化できるよう、毎回のセラピーの準備の際にやり方を考え、お子様達が飽きないように工夫している。 ・お子様の様子に合わせて調整したり、飽きない工夫。	・セラピストの配置を順番にするなど、いろいろな先生とお子様に関われるようにしています。また教材・支援方法の工夫などよりお子様に楽しんでいただけるよう、頻繁に職員間で話し合っています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・集団1時間、個別1時間。お子様の状態に応じてソーシャルセラーもやっている。	・お子様の状況にも寄りますが、可能な時は小集団活動を積極的に行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・役割分担をするだけでなく、誰がどのタイミングでも臨機応変に対応できるようにしている。 ・朝礼できている。 ・自主的に密な連携が取れている。	・小集団活動の役割分担、活動内容を事前に話し合っています。その時の状況に応じて声をかけ合い、臨機応変に対応できるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・終礼で共有を行い、後日そのことに対して時間を取って丁寧に話し合いをしている。 ・終礼できている。 ・終礼や日報で情報共有している。	・毎日の終礼でその日のお子様の様子、気付いたこと、保護者様からの話などを共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎回もれなく個人ファイルにデータを記入できている。 ・ディスクリートシートにも有効な情報が多く残されている。	・ディスクリート、サマリー、トラッキングなど毎回もれなく記録を残すことができています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・支援計画の更新日前でも、目標達成ができていればお子様の状況に応じて適宜面談を行っている。 ・定期的なモニタリング以外にも面談の時間を取ったり、お迎え時などに個々にお声掛けをするようにしている。	・モニタリング時期の少し前に園での様子を見学させていただき、その情報も併せてモニタリングを行っています。 ・アセスメント825の一覧表をお見せしながら、保護者様と一緒にお子様のできたことを確認しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・他事業所と連絡会議が行えている。 ・園訪問、園の先生に見学に来ていただく等の連携ができています。	・今年度は、お子様が通う他事業所との連携会議に児発管が参加しました。今後も必要があれば他事業所との連携に積極的に参加していきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要であれば、こちらから保育園訪問を行い、できるだけ他のところと連携を行っている。	今年度は、お子様が通う保育園／幼稚園の訪問、主治医との連携などを行いました。今後も必要があれば関係機関との連携に積極的に参加していきたいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		・保護者様からのご相談を受け、保育園／幼稚園でのお子様の様子を見学させていただき、園での様子をお聞きした上で、ご要望があった時には園で考えられる支援のアイデアをお伝えしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5		・今年度は利用児が低年齢のため行っていません。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	5		
	32	(31は、事業所のみ回答)	0	5		
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	・資料を送付、訪問させていただいた。スーパーバイズはまだ行っていない。	今後連携の機会があれば積極的に参加したいと思っています。
保護者への説明等	34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0		・現段階では、保護者からの希望がないため行っていませんが、地域イベントの情報を掲示するなど情報提供を行っています。
	35	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・連絡帳に書いてある保護者様からのメッセージなどを共有 ・面談の時間を作れることを保護者様にお伝えしている。 ・連絡ノート、フィードバック、面談などを通して情報共有に努めている。	・引き続き、連絡帳、写真・動画、面談などを通して、お子様についての共通理解を図っていきます。 ・ミニ療育講座や保護者交流会なども開催する予定です。
	36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・ブログ、ホームページ、Instagramでの療育の内容について公開している。メール、電話、LINEの連絡手段を用意。	・ミニ療育講座や保護者交流会なども開催する予定です。
	37	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・鍵付き書庫で保管。 ・契約時に説明。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫で保管。	・運営規程や支援プログラム、利用者負担などについては、契約時にご説明をしています。 ・個人情報を含む書類は鍵付き書庫に保管しています。
	38	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・インテークでご家庭の意向をお聞きし計画に反映。 ・言葉はもちろん、ジェスチャー、表情、行動などから思いをくみとることを職員一同心がけている。	・契約時のインテークや、適宜面談の時間を設け、保護者様のお話をお聞きし、計画に反映するようにしています。 ・お子様の行動観察から考えられることを職員間で話し合い、支援に活かしています。
	39	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・一つ一つの目標と手立てについてご説明。	・初回利用時に個別支援計画の内容について保護者様にご説明させていただいています。また毎回のセラーのフィードバック時にもプログラムを行う目的を折を見てご説明させていただいています。
	40	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・保護者様が困っている時には、こちらから声掛けをし面談を提案している。 ・連絡ノートや会話の中で必要が生じた時にはすぐにお話の機会を設けている。	・保護者様とお話や連絡帳のやりとりの中から必要に応じてお話の時間をも受けています。
	41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	・今後開催していきたい。 ・今後開催できたらいいねと言う話が出ている。	・ミニ療育講座や保護者交流会なども開催する予定です。

	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・迅速に面談の機会を設けるようにしている。	・保護者様とお話や連絡帳のやりとりの中から必要に応じてお話の時間をも受けています。迅速な対応が必要な時には、お電話や口頭で面談の提案をしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		・12月からは月1回教室だよりを刊行しています。 ・週に2-3回の頻度でInstagramやブログで教室での活動の様子を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・写真や動画を撮る際には、社内のタブレットのみに限定して撮影している。	・引き続きお子様の写真や動画を撮る際には、社内のタブレットのみに限定して撮影します。 ・個人情報を含む書類は、鍵付き書庫に保管、捨てる時はシュレッダーにかけるなどを心掛けていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		今後も必要に応じてお子様や保護者様が理解しやすい情報の伝え方を工夫していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・Instagramで交流。	・駄菓子屋イベントに地域の親子を招待したが、今後は行う予定がありません。 ・地域住民を招待したイベント開催は未実施。Instagramで交流。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・研修訓練ともに行っている。 ・感染症対策、訓練、BCP研修、訓練などを行った。	・来年度も引き続き、研修・訓練を行っていききたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・業務継続計画を作成し、感染症対策・自然災害対策とともに2回の研修と、2回の訓練を行った。	・来年度も引き続き、研修・訓練を行い、非常時に備えていききたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・各自アセスメントシートを見て確認している。 ・インテーク時に保護者に確認。	・今後も保護者様からのお話で、お子様の健康状態に留意点がある時は、それを職員間で共有していきます。 ・また今後万が一発作が起きてしまった時の対応や、誤飲の対応なども研修していけたらと考えております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・アレルギーがあるかどうか事前に聞き取りをしている。 ・インテーク時に保護者に確認。 ・食事は行っていない。小麦でなく米の粘土を使用。	・教室内で食事の提供を行っておりませんが、今後も保護者様からのお聞き取りを丁寧に行っていききたいと思います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・毎月安全計画に沿って点検等をしている。→保護者にもお知らせしている。	・今後も引き続き安全管理を徹底していききたいと思います。 ・ヒヤリハットの共有を通して、事故を未然に防ぐ対策も引き続き行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・掲示物とミニお便りのダブルで周知している。	・毎月お便りをお配りし保護者様に周知しています。口頭でもお伝えをしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・月に1回共有、話し合いをしている。 ・毎月ミーティングが開かれ、対応策を実行している。 ・ヒヤリハットの共有→改善策を実行している。	・ヒヤリハットの共有を通して、事故を未然に防ぐ対策も引き続き行っていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・8月に研修済み。	・今年度は主に障害者虐待防止法、虐待の種類、最近の虐待に関する事件などを研修で取り扱った。 ・来年度も職員全体で意識を高めて虐待防止に努めていきたいと思っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・8月に研修済み。	・契約時に保護者様に必ずご説明をし、了解をいただいています。

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぼけっと中野島教室			
○保護者評価実施期間	2025年 11 月 8 日 ～ 2025年 11 月 29 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業員評価実施期間	2025年 10月 11日 ～ 2025年 10月 25日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・丁寧な個別支援。小集団療育の際にも必ずマンツーマンで職員が付き支援を行っている。 ・頻繁に短時間の相談や会議が行われ、職員同士の情報共有ができています。	・お子様ができるようになるためのアイデアや支援の工夫を常に考え続け、実践し、その結果を検討→実践というようなPDCAサイクルを継続することを心掛けている。	・社内試験や事業所内研修などを通して、療育に携わる者としての知識や技術を磨き、療育の質を高めていきたい。
2	・お子様の取り組みや成長を保護者様と共有し、お困りごとがある時は一緒に改善方法を考えていく。	・母子分離型の療育教室ということもあり、セラピーでのお子様の様子・取り組みを知っていただくために、保護者様にお子様の動画、写真をお見せしながらフィードバックをすることを心掛けている。	・お子様・保護者様にとってご家庭での生活がより充実したものになるよう、療育・子育てに関するミニ講座や、保護者様同士の交流会などを企画していきたい。
3	・保育園／幼稚園訪問を積極的に行い、園との連携の強化、また園生活がスムーズになるよう教室での療育内容の改善に努め、園との良好な関係を構築してきた。	・園の先生方から要請があった場合は、園で実現可能な範囲で支援のアイデアをいくつかお伝えしている。 ・教室だよりや教室パンフレットをお配りしたり、園の先生方が療育の見学に来ていただいたりした。	・今後も園の先生方との連携を継続しながら、お子様の園生活がスムーズになるよう教室での取り組みを考えていきたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・現時点では保護者同士の交流の場や、学びあえる場を設けられていない。	・開所して間もない頃は教室運営や、療育内容や質を整えることに注力していたため。	・セラピー見学＋保護者交流会や、ミニ講座＋保護者交流会などを今後企画・実施していく。 ・内容については、保護者にアンケートを取るなどしてニーズに合ったものになるよう検討していく。 ・現地開催、オンライン開催などいくつか選択肢を作り、保護者が参加しやすいようにする
2	・小集団療育の場面において、お子様だけでなく指導員が入って小集団を形成している。	・通所児童の曜日・時間帯にばらつきがあり、お子様のみで小集団を形成することが難しい場面がある。	・丁寧な個別支援をベースとすることを継続しつつも、可能な時はソーシャルセラピーの時間を設け、2、3人で協力する活動や物の貸し借り、順番待ちなどのルールや関わり方を学ぶ活動やゲームを取り入れる。
3			